



SATO RESTAURANT
SYSTEMS GROUP



サトレストランシステムズ株式会社

2018年3月期第1四半期 決算説明資料

(証券コード:8163)

平成29年8月7日

2018年3月期 第1四半期 決算概要

◆ 売上高 104億79百万円 前期比 +9億06百万円 9.5%増

すし半業態の事業譲渡による減少影響があったものの、
M&A（宮本むなしの4月～6月の売上高約7億円）および新規出店により増収

◆ 営業利益 ▲1億20百万円 前期比 +1億41百万円 経常利益 ▲1億29百万円 前期比 +2億77百万円

増収効果に加え、適切な経費コントロールで増益
前期1Qの為替差損1億26百万円が解消し、営業外損益も改善

親会社株主に帰属する

◆ 当期純利益 28百万円 前期比 +6億14百万円

すし半業態の事業譲渡による子会社株式売却益2億84百万円を計上し、増益

2018年3月期第1四半期 業態別店舗数

	2017年 3月期末 店舗数	2018年3月期 第1四半期 出店 閉店	2018年3月期 第1四半期末 店舗数	2018年3月期 出店計画
和食さと	202	— —	202	2
さん天	40 (1)	— —	40 (1)	13 (5)
にぎり長次郎・CHOJIRO	57	— —	57	3
宮本むなし	69 (7)	— 2	67 (7)	1
かつや	36 (19)	— —	36 (19)	5 (3)
夫婦善哉	1	— —	1	—
宅配すし（にぎり忠次郎・都人）	21 (14)	— —	21 (14)	—
すし半	13	— 13	—	—
海外店舗	6 (4)	— —	6 (4)	1
グループ計	445 (45)	0 15	430 (45)	25 (8)

（ ）はFC・のれん分け・海外合併会社店舗数

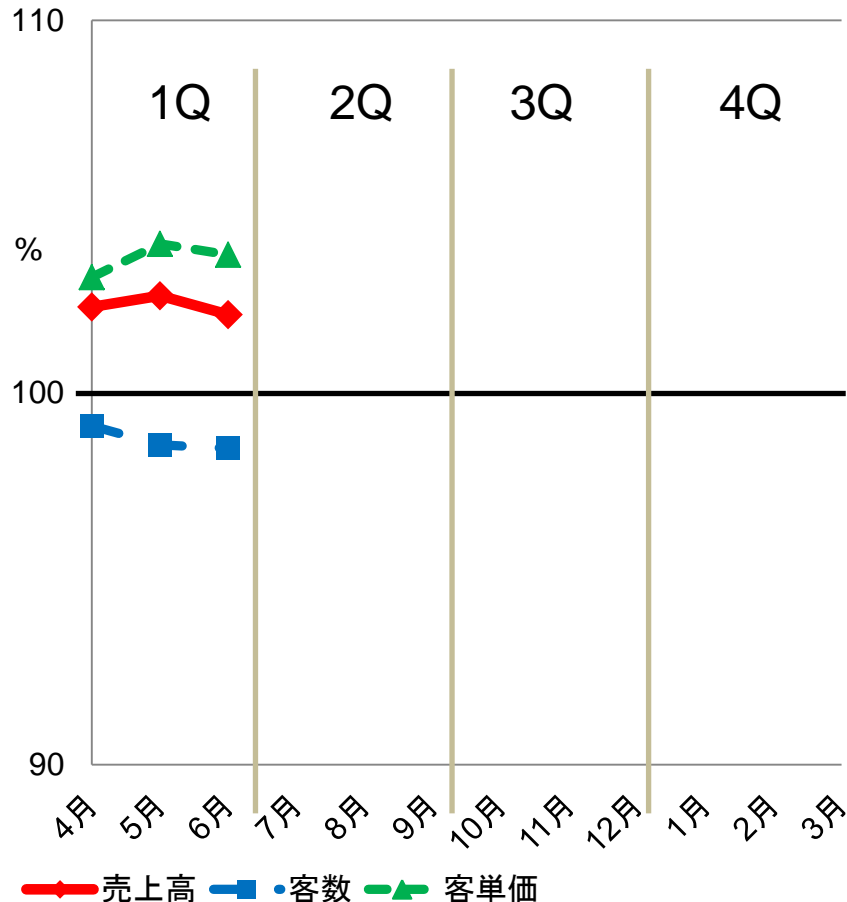
出店：なし、契約済10店舗（進捗率40%）

閉店：宮本むなし2店舗（藤井寺駅前店、南海堺東駅前店）、すし半13店舗（H29.4.1事業譲渡）

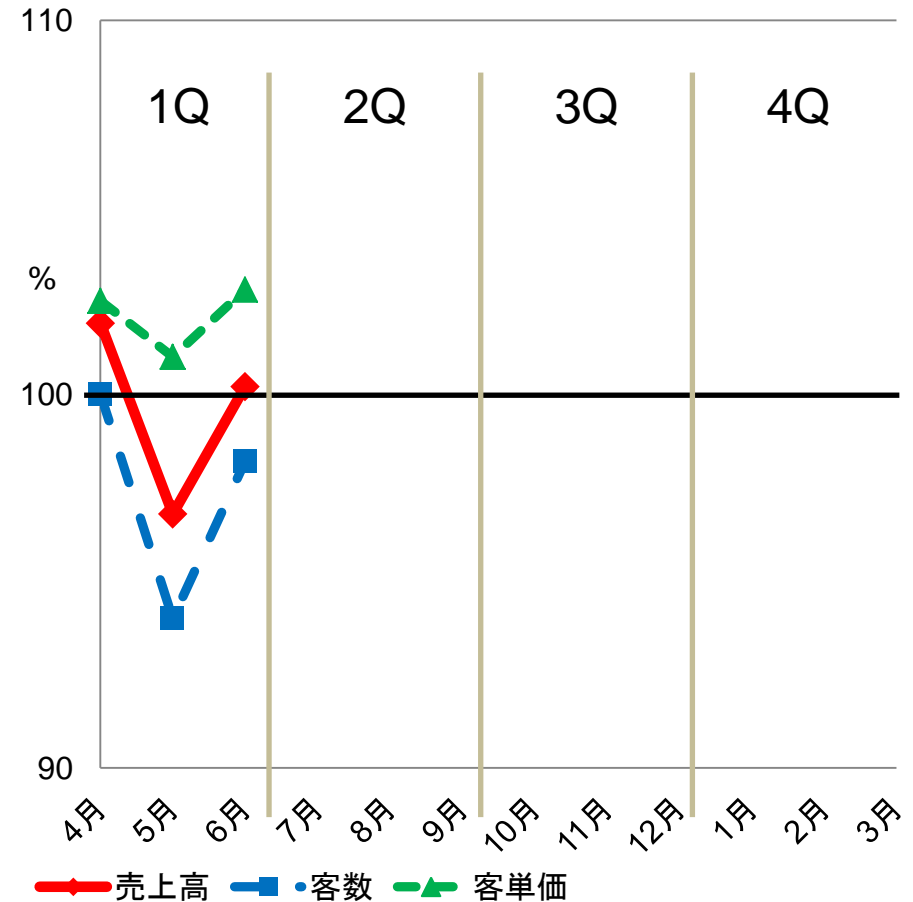
2018年3月期 既存店業績の推移

和食さとは、食べ放題商品（さとしゃぶ・さとすき）の販売数の増加により客単価が好調に推移
にぎり長次郎は、顧客サービスの徹底および初夏メニューの好調により、6月に客数・客単価ともに持ち直す

【和食さと】曜日特性修正後 既存店前年比



【にぎり長次郎】曜日特性修正後 既存店前年比



2018年3月期 事業別施策の進捗状況

	主要項目	施策内容／進捗状況
1	和食さと	<p>「さとバル&さとカフェ」の全店導入</p> <p>①セルフ式ドリンクバーを設置し、お値打ち価格で飲み放題を販売、新たな利用動機を取り込み</p> <p>②洗練されたデザインの設備で、新しい「和食さと」のブランディング戦略を展開</p> <p>→第1四半期末時点、109店舗導入済</p>
2	さん天	<p>・専任者を設置し、本格的にF C開発に着手</p> <p>→FC加盟企業向け物件調査中</p> <p>・マーケティング強化（海老天丼390円の価格訴求力を維持し、新ジャンルの商品開発も着手）</p> <p>→カレー商品、お子様メニュー拡充などのメニュー実験</p> <p>・多店舗化に向けた収益力の一層強化</p> <p>→荒利益率・人件費率改善</p>
3	にぎり長次郎・CHOJIRO	<p>・関西を中心に新店（関西グルメ回転寿司トップブランドを堅持）</p> <p>→1店舗出店契約済（8/5伊丹店オープン＜兵庫県＞）</p> <p>・CHOJIRO法善寺店をインバウンド集客の旗艦店へ</p> <p>→グローバルサイトリニューアル（中国語・韓国語追加）、海外メディア等への露出UP</p>
4	宮本むなし	<p>・既存イメージを一新する改装（明るく清潔感のある店内、客層の拡大）</p> <p>→第1四半期末時点、27店舗改装済</p> <p>・付加価値の高い新商品を投入（客単価、粗利益率の向上）</p> <p>→新メニュー投入4回（豚スタミナメニュー、かつおたたき丼、デラックス定食、まぐろ丼・豚丼）</p>
5	かつや	<p>・関西での継続出店（直営・F C）</p> <p>→1店舗出店契約済</p> <p>・既存店の収益力強化</p> <p>→商品力の向上と料理提供時間の改善</p>

2018年3月期 その他施策の進捗状況

	主要項目	施策内容／進捗状況
6	本社業務効率化	・ すし半事業譲渡によりMD部を中心とした効率化等が可能に（下期から） →下期から予定
7	ガバナンス強化	・ コーポレートガバナンス統括部 設置（H29.4.1～） →4月1日、コーポレートガバナンス統括部を設置済 ・ 監査役会設置会社から監査等委員会設置会社へ移行（H29.6.29～） →6月29日、監査等委員会設置会社へ移行済
8	組織再編	・ 持株会社体制への移行（H29.10.1予定） （経営戦略機能と事業執行機能の分離による意思決定の迅速化） →分割子会社との吸収分割契約を締結し、10月1日に持株会社体制へ移行予定
9	台湾事業	・ 3号店の出店を計画（12月予定） →3号店目契約予定

貸借対照表（BS）

単位：百万円

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	2018年3月期 第1四半期	増減
流動資産	10,906	11,750	+843
固定資産	20,449	18,153	△2,296
流動負債	7,592	7,128	△464
固定負債	9,565	8,674	△891
純資産	14,284	14,185	△99
総資産	31,443	29,988	△1,455

流動資産・・・すし半事業の売却譲渡金による現金の増加等

固定資産・・・すし半事業の売却による土地の減少等

固定負債・・・長期借入金と社債の減少等



SATO RESTAURANT
SYSTEMS GROUP

お問い合わせ先

サトレストランシステムズ株式会社
企画総務部（夏井、古部、大田）

TEL: 06-7709-9977

メールアドレス：873@sato-rs.jp

本資料に掲載されている業績予想は、本プレゼンテーション時において入手可能な情報に基づき判断した見通しです。
この中には、多分に不確定要素が含まれており、様々な要因によりこれら業績等に関する見通しとは大きく異なることがあります。
以上の前提をご理解いただき、投資に関する決定をされる場合にはご自身の判断で行われるようお願いいたします。